

モニタリング結果報告書

施設 神奈川県立県民ホール（本館）
 指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団
 施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成22年度 上半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
4月	5月10日	5月17日	改善すべき業務等なし
5月	6月10日	6月17日	改善すべき業務等なし
6月	7月12日	7月20日	改善すべき業務等なし
7月	8月10日	8月17日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	9月17日	改善すべき業務等なし
9月	10月8日	10月18日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

「共感」「多彩」「卓越」をキーワードに一柳慧芸術総監督の指導のもと、古典の名作から現代作品まで集客性に配慮しつつ創造性に富む多彩な事業を実施する。

①大ホールでは、年間にわたり大型総合芸術であるオペラ、バレエを中心に水準の高い公演をそろえるとともに県域で芸術創造活動を行う団体や個人を支援する。

小ホールでは、舞台と客席が近い空間特性を活かしたパイプオルガンや室内楽を中心とした多彩な事業を実施する。

ギャラリーでは、テーマ性の高い企画展や現代美術展に取り組む。

②事業収支の確保のための取組み～外部資金の獲得

③人材育成～インターンシップの受け入れと指導と講座事業の実施

<実施状況>

①第17回神奈川国際芸術フェスティバル 神奈川県立県民ホール開館35周年記念

(大ホール) カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」 6月6日(日)(入場者数1,842人)

(ギャラリー) デザインの港2 浅葉克己展 「東洋的核なもの⇄西洋的核なもの⇄宇宙的核なもの」 7月7日(水)～22日(木)(入場者数1,525人) ほか

○通年事業

(小ホール) パイプオルガン・プロムナードコンサート Vol.296～299 4・6・8・9月(入場者数1,551人)

(ギャラリー) 第45回神奈川県美術展 1期展 [工芸・書・写真] 9/8(水)～19日(日)(入場者数3,723人)、2期展 [平面立体] 9/22(水)～10/3(日)(入場者数2,581人) ほか

②事業収支の確保のための取組み

平成22年度文化庁「芸術拠点形成事業」(26,000千円)、平成22年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」(49,209千円)のほか、「デザインの港2 浅葉克己展」での協賛金(1,900千円)、「第17回神奈川国際芸術フェスティバル」での企業協賛(6,350千円)を獲得した。

③人材育成

第77回舞台芸術講座「ユカリューシャが語る ロシアバレエとオネーギンの魅力」 4月10日(土)(入場者数113人)、第78回舞台芸術講座ローベルト・シューマン生誕200年記念レクチャー&コンサート「おめでとうシューマン! 童心と憧れの音楽を祝って」 6月5日(土)

(入場者数282人)を実施したほか、インターンシップの受け入れと指導を行い「パイプオルガン・夏休み子どもスペシャル」に高校生4名が参加した。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入			
年間予算額	1,022,824	654,946	225,000	142,878	1,022,824	0
上半期計 (a)	415,465	255,761	127,916 (139,147)	31,788	394,565	20,900
下半期計 (b)						
4月	25,784	4,659	20,389 (22,003)	736	12,343	13,441
5月	66,898	43,018	22,215 (21,424)	1,665	73,408	△6,510
6月	79,704	54,758	22,468 (26,925)	2,478	76,263	3,441
7月	81,299	55,585	24,296 (24,000)	1,418	75,686	5,613
8月	83,296	47,631	21,582 (24,005)	14,083	79,852	3,444
9月	78,484	50,110	16,966 (20,790)	11,408	77,013	1,471
合計 (a+b)	415,465	255,761	127,916	31,788	394,565	20,900

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

- 収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・階段がきつい・エレベーター・エスカレーターの設置要望(55件)	階段、段差での移動が困難な来館者、主催側利用者が予想される場合には、事前打合わせ等で当日の導線を確認するとともに、館内各所と情報を共有し、利用者への負担軽減を目指し、スムーズにご案内ができるよう徹底している。
	・トイレがよくない。(少ない、消音装置がほしい)(24件)	公演の休憩時には、利用が集中するので案内の係を配置し利用者への誘導を行うことで待ち時間の短縮をはかっている。
	・ホール空調について(暑すぎる、寒すぎる)(16件)	主催者により場内が快適な温度か連絡をもらい、こまめに空調を調整している。
職員対応	・座席指定券の交換時間について主催者(貸館)へ御不満を持ち、体調不良となったお客様が、その後対応した県民ホール職員の態度がよくなかったと不満を述べられた。	さまざまなお客様にも、つねに歓待する気持ちで接するよう職員に周知していく。
事業内容	・乳幼児入場可の公演(小ホールパイプオルガン・プロムナードコンサート)について やはり入場制限してほしい。退場を促してほしい。(12件)	乳幼児から老年層まで誰でも気軽に入れる無料コンサートの開催をしているが、お客様からのご要望に応えるかたちで、一日2回、公演を開催することにし、2回目の公演では未就学児の入場に制限を設けることとした。 乳幼児連れのお客様には引き続きマナーの周知を徹底し行っていく。
その他		

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。
なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

	概要・対応状況等
4月14日(水)	車いすでの来場者(30代女性)がタクシー運転手の補助誘導ミスにより路上に転倒し頭部を強打、本人の希望により救急車を要請し搬送した。
4月25日(日)	来場者(70代女性)が階段で躓き顔面を強打、救急車を要請し搬送した。
9月19日(日)	来場者(80代男性)が正面入口前の階段で転倒し、後頭部より出血があり、救急車を要請。連絡すると既に通報があり向かっているとのこと、救急隊が到着し応急処置後搬送した。

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		該当なし。	

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>施設の老朽化の進行に伴い設備・機器類の障害発生防止の観点から、保守点検日の確保が必要となってきた。</p> <p>①適切な保守点検の実施により適時対応を行う。</p> <p>②更新可能な部分については予兆発見時に早期に対応していくなどの対策を講じる。計画的に保守点検日を確保していくと同時に、利用者により良い状態で利用施設を提供し利用日数・利用者数・利用料収入の向上につなげる。</p>
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進む大規模集客施設として、引き続き、施設・設備の保守・点検について万全を期し、来場者等の安全、安心が確保できるよう留意して管理・運営にあたり、施設・設備面での制約を踏まえつつ、その施設特性を活かした管理運営に努めていただきたい。 老朽化に伴う、施設・設備類の改修、修繕、更新は、県と指定管理者で、検討・協議を行い、両者で課題を整理し、施設・設備の改修等を実施する必要がある。 ・多様化する施設利用者、来場者の要求に応え、利用率、利用者数、利用料金収入の向上に努めていただきたい。 ・引き続き、水準の高い公演を実施し、県民に良質な文化芸術の鑑賞機会を提供するとともに、高い芸術性を有する新しい舞台を創造し発信していただきたい。